

# 幼稚園実習における実習日誌の検討 ～実習園のアンケート調査より～

舟越 美幸\*

## 【抄録】

本研究は、実習園から大阪府私立幼稚園連盟が作成した実習日誌の導入を提案され、①実習指導者と実習生双方の負担軽減に繋がるか、②実習生の具体的な学びに繋がるかの二点に視点を置いた質問紙調査を実習園の指導者に依頼し、今後の実習日誌の様式や取り入れる方法について検討した。その結果、保育を捉える視点が具体的で、実習生は要点を押さえた記録となり振り返りがしやすい、実習指導者は、実習生の受け止めや理解度、一番強く感じ心動かされた場面が分かりやすく、ポイントをしばった効果的な指導ができる可能性があることが推察された。しかし、時系列型も全体的な流れの把握や、指導案作成のために重要な学習であること、導入した場合カンファレンスの時間確保の難しさ、記述が苦手な学生の指導に困難さを抱える可能性があることも推察された。①実習園・実習生別に選択制にする②新しいクラス1週目は現在の「時系列型」+「エピソード型」の実習日誌を使用。2週目以降、保育者と実習生でいずれの形式を使うか話し合い決定する③面談記録の欄を削除した日誌の様式を作成、負担がない程度に振り返りの時間を設ける、3点のルールの下導入し、今後の方向性を模索する。

キーワード：保育・幼児教育、実習日誌、幼稚園実習

2025年1月6日受理

## I. はじめに

筆者は、保育者養成校の教員で幼稚園実習を担当し、その実習では「時系列型」と「エピソード型」を用い表裏合わせたA4判1枚の実習日誌（資料1）を取り入れている。しかし、昨年度の幼稚園実習において、実習を依頼している園の指導者から、同時期に実習を行った他大学の実習日誌（「大阪府私立幼稚園連盟」が作成したカンファレンス型の実習日誌（以下大私幼日誌と記述：資料2）を紹介され、「実習生の学びが深まるだけでなく、実習指導者の負担も少ない。この形式であれば実習生の受け入れ人数増も検討できる、この形式の採用について検討してほしい」と提案された。近年、少子化や核家族化等から、近隣市町村の幼稚園が減少していることや、認定こども園の増加により保育時間が長時間化し、実習園によっては帰宅後から実習日誌記述にとりかかり書き終えるまで長時間かかる学生も一定数見受けられること等から、近年の実習日誌の実態や課題を明らかにし、この度提

案を受けた「大私幼日誌」の取入れの可否について検討する必要がある。本研究では、大私幼日誌のメリット・デメリットについて調べ、今後の本学の実習日誌に取り入れる方法等について、その方向性を模索することを目的とする。

## II. 実習日誌の役割と課題

### 1. 実習日誌の意義

保育記録とは、保育中の出来事をメモしたり覚えていたりして、保育終了後に記録を文章化し、保育場面のイメージを定着したり、再現したりすることで自分の保育を再構成し、保育を見直す手段となり、保育の質を高めるために必要なものとされている<sup>1)</sup>。実習日誌を書く目的として、保育者に必要な子どもを理解する力、保育を振り返り省察する力、気づいたことを文章にすることで学びを整理する力を身につけることや<sup>2)</sup>、①担当保育者との文書を通してのコミュニケーション②自分の実習に対する心構えと目標の設定③子

\*大阪健康福祉短期大学 保育・幼児教育学科

ども理解の深まりと自身の成長④保育者の仕事の理解と実習課題の明確化⑤実習体験と職業の関連づけ⑥実習全体の振り返りと次の実習の課題及び自己課題の把握が挙げられる<sup>3)</sup>。また、実習園の指導担当職員が実習日誌に求めることとして、「記録を細かく、具体的に取る、子どもの活動や発達の観察、理解、保育士の対応やポイントを押さえる」三点の捉え方<sup>4)</sup>を指摘している。これらのことから、実習日誌は実習生にとって、主観や実践内容等を省察しながら、保育観や保育技術を学び実践知を積むために重要な役割を果たしており、指導者が実習生を指導する際に必要なツールとなるよう、ポイントを抑えた記述が求められていると言える。

## 2. 実習生と実習指導者双方の負担感

前述したように、実習における実習日誌の意義は大きい。しかし、実習生から「日誌さえなければ実習も楽しいのに」「日誌を書くために睡眠時間が削られ辛かった」「毎日同じようなことしか書けなかった」といった感想や<sup>5)</sup>、「実習にとって必要不可欠な実習日誌だが、記録のとり方に不慣れな実習生にとって、時に負担感も感じるのも否めない」<sup>6)</sup>等、実習生の負担感について言及されている。また、実習生と実習指導者双方の負担感を捉え、①実習日誌を書く負担（睡眠時間を割いて書く学生も多く、保育内容を丁寧に書き綴る労力の大きさ）②記録を取るための実習（保育中に絶えずメモを取るため、子どもの懐に飛び込めず遠目に保育を観察し保育ができない学生の多さ）③子どもの姿を捉えて記録を書くことの難しさ（子ども一人一人の動きを保育の中で考察することや、活動が子ども達によってどのように展開したのかダイナミックな捉えを考察することの難しさ）④保育現場（担任）への負担（保育時間外の学生の実習日誌を読む作業が大きな負担となっていることが述べられ<sup>7)</sup>、教員の働き方改革が進められている今日、実習日誌等の軽減等意識の変化が必要とされている<sup>8)</sup>。

## 3. 実習日誌の形態と効果

実習日誌の形態については「現在主に使用されている幼稚園実習日誌の形式は、時系列型、エピソード型の形式である」と述べられ<sup>9)</sup>、『「時系列に沿った一日の生活の記録」と「具体的な実習体験とそれに対する感想・考察・反省等の記録（自由記述形式）」を組み

合わせたものが最も多くみられる書式である』<sup>10)</sup>。また、時系列の項目については、「保育者の意図・願い」を記述項目の一つとして別に設けている日誌や<sup>11)</sup>、幼稚園での観察実習と日誌指導を目的に、時系列に沿って「環境構成と子どもの活動」・「保育者の援助、指導の留意点と配慮」「環境図」を記述するよう意図された日誌も存在する<sup>12)</sup>。

各日誌の特徴として、時系列型は、時間の流れに合わせて、子ども、保育者、実習生の動きや環境構成、子どもの姿と保育者の援助、実習生自身の気づきについて記入し、エピソード型は、子どもの様子・保育者の子どもへの関わり・実習生の子どもとのかかわりについて保育場面を振り返り具体的に記述することが挙げられる<sup>13)</sup>。その効果として、時系列型は、園での子どもの生活や保育者の仕事、子どもへの関わりを学び、その生活の中で実習生自身がどのように動いたのか、どのようなことに気付いたのかを記入することで、自身の一日の実習体験と学びを整理する、エピソード型については、エピソード記録を通して保育を省察することで子ども理解を深め、保育を深く理解することが可能となる<sup>14)</sup>。

また、その他の実習日誌には、時系列型の実習日誌に「環境設定」の項目をあえて設けず、「空間的な記録」として補足し、特記事項（図・表、資料、エピソード他）を加えた日誌の形態や<sup>15)</sup>、ドキュメンテーション型の日誌を用いる養成校も存在する<sup>16)</sup>。

## 4. 「大私幼日誌」と実習日誌の課題

大阪府私立幼稚園連盟作成の実習ガイドライン<sup>17)</sup>によると、実習により保育者の道を断念する学生も散見され、子どもと接する楽しさ、喜びややりがいを感じながら保育の道に進む意欲が持てるよう、『子どもの内面理解や興味関心に心を寄せるなど、子どもの「今」「ここ」の思いに寄り添えるようになること』に特化した内容となっている<sup>18)</sup>。また、記録内容を精査した「体験重視型実習日誌」であり、実習生にとって①視点が明らかで書きやすい、②記入時間が軽減し、準備や子どもに向き合うことに注力できる、③記載内容に沿って、意見がいいやすいといったメリットがある。また同時に、実習担当教員にとっても、①面談を進めやすくアドバイスしやすい、②日誌に記入された質疑に直接対話の中で指導できるため、添削時間が大幅に短縮する、③実習生の感じ方や疑問点を把握しや

すく、指導に生かすことができるメリットがあるという記述がある<sup>19)</sup>。その過程において、実習指導者が想定していない意見や疑問が実習生から出た場合も否定せず、丁寧に問い返し話題を深めることで、保育者として必要な視点を育んだり、部分実習や全日実習と繋がりを持つよう、子どもの姿・環境構成・保育者の援助・保育者の配慮などに意識が向くような対話をしたりすることが大切に考えられている<sup>20)</sup>。

以上から、本学が従来から使用する時系列型とエピソード型の表裏一体型の実習日誌については、多くの養成校が取り入れており、効果が高い形式であると考えられる。しかし、実習生と実習指導者双方への負担感が生じていること、大私幼日誌を導入した場合、保育の場面を捉える際に必要な専門的項目別に抑えてあることから別の教育的効果が得られることも予測され、実態を調査する必要がある。本研究では上述の先行研究を基に、大私幼日誌を取り入れた際に予測されるメリットやデメリットに関し、①実習指導者と実習生双方の負担軽減に繋がるか、②実習生の具体的な学びに繋がるかの二点に視点を置いた質問紙調査を実習園の指導者に依頼し、調査結果と考察から今後の実習日誌の様式や取り入れる方法について、その方向性を模索することを目的とする。

## II. 方法

2023年12月、当該年度幼稚園実習園(31園)に対し、資料1・2と共に1通ずつアンケート調査を郵送し、実習指導者1名が無記名で記述後、返信用封筒で送付を依頼する方法で実施した(回収率100%)。その内容としては、はじめに下表1の質問項目A-Cを「とてもそう思う」「ややそう思う」「どちらでもない」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の5件法で選択するよう求め、各質問別に全体数に対する割合をグラフにまとめる。次に、各質問項目別に、その理由を自由記述で記入してもらうよう求め、文節ごとにコード化した後、KJ法でカテゴリー抽出を行う。その際、根拠となるキーワードに下線( )を引いて表にまとめ、抽出されたカテゴリーについて大カテゴリーを【 】、小カテゴリーを〈 〉を用い述べていく。また、質問Dについては、「はい」「いいえ」で答える2件法、質問E・Fについては自由記述で回答を求めた。なお、以上アンケート調査の質問項目を下表1に示す。

表1：アンケート調査の質問項目

A	カンファレンス型の実習日誌導入は、実習指導者の負担軽減につながると思いますか。
B	カンファレンス型の実習日誌導入は、実習生の負担軽減につながると思いますか。
C	カンファレンス型の実習日誌導入は、実習生へ指導内容を具体的に伝える手段になると思いますか。
D	「カンファレンス型の実習日誌」を取り入れた養成校を受け入れたことがありますか。
E	質問「D」で「ある」と答えた方は、その時に感じたことをご記入ください。
F	その他「実習日誌」についてご意見があればご記入ください。

## III. 結果

アンケート調査の5件法・2件法に関する回答について、下図1-4、自由記述については下表2-4に示す。

### 1. 質問A：カンファレンス型の実習日誌導入は、実習指導者の負担軽減につながると思いますか。

#### (1) 回答結果より

5件法の結果(下図1)、「どちらでもない(38.1%)」が一番高く、続いて「ややそう思う(33.3%)」「あまりそう思わない(19.0%)」となり、「とてもそう思う(4.8%)」「全くそう思わない(4.8%)」は同率で低かった。次に、「とてもそう思う」「ややそう思う」の総計と、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の総計を比較したところ、「とてもそう思う」「ややそう思う」は38.1%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」は23.8%となり、実習指導者の負担軽減につながると回答された数の割合が約1.5割程度高かった。

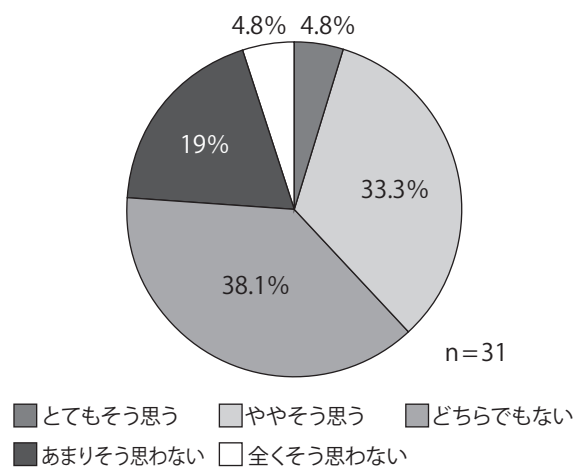


図1：質問A:実習指導者の負担軽減に繋がると思うか

## (2) 自由記述より

以下に自由記述の内容をKJ法でカテゴリー抽出を行った結果、大カテゴリー【実習生】【実習指導者】2項目、小カテゴリーについては、【実習生】に〈具体的な視点〉〈振り返りの充実〉〈意識付け〉3項目、【実習指導者】に〈添削負担の軽減〉〈効果的な指導〉〈カンファレンス時間確保の難しさ〉〈指導負担の増加〉〈変わらない〉5項目、計8項目を抽出し、下表2に示す。

〈表2：実習指導者の負担軽減に繋がるか〉

カテゴリー	アンケートの自由記述	
実習生	具体的な視点	・時系列型と比べ、振り返る視点が具体的 ・細かく項目が分かれているので、 <u>具体的で要点を押さえた</u> 日誌となる
	振り返りの充実	・多様な視点から振り返りができてよい ・ <u>振り返りがしやすい</u> と思う
	意識づけ	・ <u>実習生自身も意識を持ち、毎日の実習に臨むことができるのではない</u> かと思う
実習指導者	添削負担の軽減	・項目別になっており、 <u>読みやすい</u> ・ <u>効率よく日誌の添削ができる</u> ・ポイントが絞ってあるため、 <u>添削時間が短縮できる</u> と思う ・ <u>目標等が明確化され、添削指導のコメントしやすい</u>
	効果的な指導	・日誌に <u>記録してほしい</u> ことが伝えやすいと思う ・ <u>受け止めや理解度が分かり、それに</u> 応じた指導をすることができると思う ・ <u>実習生が一番強く感じたことについて</u> ポイントを <b>しぼった話（指導）</b> ができる
	カンファレンス時間確保の難しさ	・毎日、研究保育をした後の協議のように <u>実習生と話し合わなければ意味がないのでは</u> 園によってはその時間が毎日確保できるのかと思います ・ <u>経験の浅い担任は、自分の仕事との時間配分を</u> 考えて取り組まないと負担軽減にならないと思う（幼稚園のクラス数が減ったことで、若いTが指導することがあるため）。
	指導負担の増加	・書くことが苦手な学生にとっては、 <u>指導することが増え、実習指導者の負担が増える</u> ことが予想される ・毎日、 <u>実習生と日誌の視点に基づいた話し合いを行い、考察を引き出したり、助言を</u> したりなどに時間を割くことは、より負担が増える <sup>と考える</sup> 。
	変わらない	・学生その日の保育を捉えに対して、 <u>指導することに</u> 変わりが <b>ない</b> ため ・ねらいや気づき等を詳しく伝える必要があるため、 <u>負担軽減には</u> つながら <b>ない</b>

## 2. 質問B:カンファレンス型の実習日誌導入は、実習生の負担軽減につながると感じますか。

### (1) 回答結果より

アンケートの結果（下図2）、「ややそう思う（47.6%）」が一番高く、続いて「どちらでもない（33.3%）」、「とてもそう思う（9.5%）」、「あまりそう思わない（9.5%）」は同率、「全くそう思わない（0%）」だった。次に、「とてもそう思う」「ややそう思う」の総数と「あまりそう思わない」「全くそう思わない」総数を比較した結果、「とてもそう思う」「ややそう思う」は57.1%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」は9.5%となり、「負担軽減につながる」と思う回答割合が高かった。

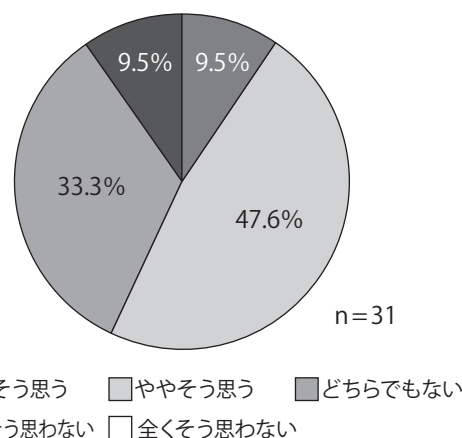


図2：質問B:実習生の負担軽減に繋がると思うか

### (2) 自由記述より

以下にこの質問項目の自由記述についてKJ法でカテゴリー抽出し、以下に述べていく。

この項目の自由記述をKJ法で分類した結果、〈具体的な視点〉〈記述負担の減少〉〈振り返りの充実〉〈保育場面の捉えやすさ〉〈課題意識を持った観察・考察力等の必要性〉〈困難さが生じる可能性〉の6項目を抽出し、下表3に示す。

〈表3：実習生の負担軽減につながるか：ややそう思う〉

	アンケートの自由記述
具体的な視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視点が具体的で分かりやすく、書きやすいのではないかと思う</li> <li>・ポイントが絞って具体的に記入できる</li> <li>・保育を見る上での視点が定まっています、良い形式だと思う</li> </ul>
記述負担の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時系列型の毎日全て記入しなくてはならない工程が省かれる</li> <li>・記述時間が減り、大幅な負担軽減につながると思う</li> <li>・実習中の負担の一番はノートの記入、多少は軽減につながると思う</li> </ul>
振り返りの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生自身の振り返りの時間にあてられる</li> <li>・振り返りがしやすくなる</li> </ul>
保育場面の捉えやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の場面が捉えやすくなる</li> <li>・振り返りや質問等がカンファレンスの場ででき、保育場面が捉えやすくなる。</li> </ul>
課題意識を持った観察・考察力等の必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より深い観察力が必要となるので、広い視野を観る力が求められていると感じる</li> <li>・これまで以上に保育場面の深い読み取りが求められているようにも感じる</li> <li>・保育のねらい、教師の役割、幼児の発達など自分なりに考え、課題意識を持ったうえで、実際の保育の中で気づき、考察を行う必要があります。</li> </ul>
困難が生じる可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深い学びに繋がる学生にとってはよいが、ねらい等の視点が持ちにくい学生は何を記述してよいかかわからず、余計に負担になると思う</li> <li>・実習生の力量によっては、かえって書けないという問題が生じる可能性がある。</li> <li>・書く量は減るかもしれないが、エピソード型と同様、捉える視点が備わっていない学生や見極めが難しい学生には難しいと感じる。</li> </ul>

### 3. カンファレンス型の実習日誌導入は、指導内容を具体的に伝える手段になると考えますか。

#### (1) 回答結果より

アンケートの結果（下図3）、「ややそう思う（52.4%）」が一番高く、続いて「どちらでもない（23.8%）」「とてもそう思う（19.0%）」「あまりそう思わない（0%）」「全くそう思わない（4.8%）」となった。次に、「とてもそう思う」「ややそう思う」の総数と「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の総数を比較したところ、前者は76.2%、後者は4.8%で、「実習指導内容を具体的に伝える手段につながる」を選択した割合が約7割強と高かった。

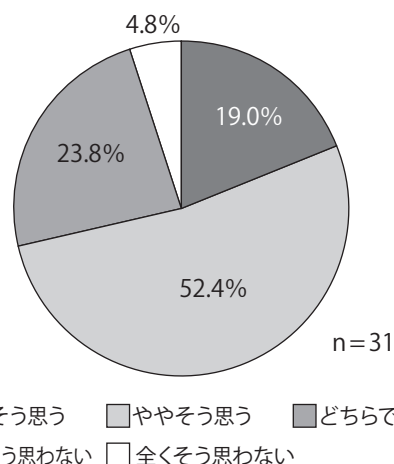


図3：質問C:指導内容を具体的に伝える手段となると思うか

#### (2) 自由記述より

以下に自由記述について、KJ法でカテゴリー抽出を行い下表4にまとめ、述べていく。

この項目の自由記述をKJ法で分類した結果、〈実習生の視点理解〉〈具体的な指導〉〈実習指導者との対話〉〈意識付け〉〈困難が生じる可能性〉〈時系列型記録の重要性〉〈分からない〉の計7項目が抽出された。

〈表4：指導内容を具体的に伝える手段につながるか〉

	アンケートの自由記述
実習生の視点理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの視点が具体的なので、<u>実習生の感じたことや疑問点などが捉えやすくなる分、指導内容も具体的に</u>なると思います。</li> <li>・<u>実習生の受け止めや理解度が分かり、それに</u>応じた指導をすることができると思う。</li> <li>・<u>実習生の気づきや迷いが分かりやすく伝えやすい。</u></li> </ul>
具体的な指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育（子どもの姿、教師の援助）の読み取りを通して、<u>具体的な一場面から指導することが</u>できる</li> <li>・<u>視点が決まっているため、具体的に</u>伝えやすい</li> <li>・<u>ポイントを指導することが</u>できる</li> <li>・<u>項目ごとに助言が</u>しやすい</li> <li>・<u>実習生の振り返りが具体的に</u>記入してあるため、<u>具体的に</u>伝えやすい</li> </ul>
実習指導者との対話	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず1対1で振り返りの時間を作ってから、<u>日誌を返すこと</u>になるため</li> <li>・<u>話をする機会が増えるので</u>伝えやすくなる</li> <li>・<u>実習生と一緒に考えるため</u>指導しやすい</li> <li>・<u>直接伝えることが</u>大切。文面のやり取りではうまくいかないことがある</li> <li>・<u>担任が直接、実習生の顔を見ながら</u>具体的に伝えることができ、<u>理解できたか分かるので、担任の思いが</u>伝わりやすい</li> <li>・<u>実習生とのやり取りの中で</u>話ができるため、より具体的になる</li> </ul>

意識付け	・視点が明確になることで、 <u>実習生自身も意識をもって毎日の実習に臨むことができるのではないか</u> と思う
困難さが生じる可能性	・学生から具体的な内容が出ればそれに対し具体的な指導ができるかもしれないが、 <u>内容がなければ日誌は薄いものになる</u> と思う。 ・ふさわしい場面の見極めが難しい実習生には <u>深い学びが得にくい</u> 気がする。
時系列型記録の重要性	・やはり <u>時系列型のノート（記録）を書くことも、勉強だ</u> と思う（書くことは現場に出てからも必ず必要です）。
分からない	・具体的に使える手段になるのかは、 <u>ちょっと分からない</u> です

#### 4. 質問D：「カンファレンス型の実習日誌」を取り入れた養成校を受け入れたことがありますか？

調査の結果（下図4）、「ある」と回答した園は1件（4.8%）、「ない」と回答した園は30件（95.2%）だった。

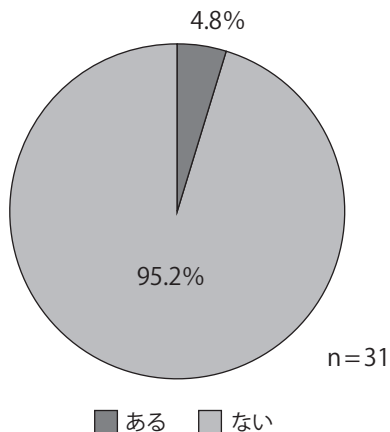


図4：質問D:カンファレンス型の実習日誌の養成校を受け入れた経験

#### 5. 質問E：「D」で「ある」と答えた方は、その時に感じたことをご記入ください。

- ・1つの場面を丁寧に読み取り、視点をしばって日誌に書くことで、指導者と一緒に考えたり、具体的に指導したりすることができ、より深い学びにつながると感じた。

#### 6. 質問F：その他「実習日誌」についてご意見等があれば、ご記入ください。

##### (1) 時系列型について

- ・まずは時系列で保育の全体の流れを的確に捉えられるかということも大事な学習だと思います。その中で、教師の意図と違った捉えがあったり、言葉の

誤った使い方があったりと、基本的なことについて指導することもあります。

- ・日案など働いたときに時系列の指導案を書くことがあるので、時系列型の書き方の練習ができていいと思う。どのような日誌の形態になっても実習生の意欲、やる気次第だと思う。
- ・時系列型の実施であっても、その日、その時の活動のねらいに対して、振り返りができ、次のねらいが見いだせるよう日々のねらいに即して書き方を変えてもらうといいと思う。
- ・毎日同じことを繰り返し記入する時系列の日誌の部分を検討されてはどうか。

#### (2) エピソード型+カンファレンス型について

##### ① 選択制にしてはどうか。

- ・実習生によって時系列が書きやすい人、カンファレンス型が書きやすい人がいると思う。観察、記録する上でのポイントや視点は、共通理解しておき、選択制にしてもよいのではないか。
- ・従来の日誌を基本にカンファレンス型のように視点をしばった日誌内容で実習保育の分析や良さが生かされるとよい。型が決まっているのではなく、日誌形態を選べるような選択肢があるとよい。

##### ② 実習時期に応じて使い分けてはどうか。

実習1週目に今の実習日誌、2週目以降にカンファレンス型というのではどうでしょうか

#### (3) その他

- ・実習日誌が教育実習生や指導担当者にとって負担とならない量や内容を検討していただきたい。
- ・実習生の思いが感じとれる記述内容になっている事が望ましいと思う。

## IV. 考察

### 1. アンケート調査の考察

#### (1) 実習生と実習指導者の負担軽減について

はじめに、質問A「実習指導者の負担軽減」・B「実習生の負担軽減」に繋がるかについて質問の結果、数値の違いはあるものの「とてもそう思う」「ややそう思う」の総計が「あまりそう思わない」「全くそう思わない」よりいずれも高く、実習指導者と実習生双方の負担軽減に繋がる可能性があることが推察された。

次に質問Aの自由記述から【実習生】にとっては、〈具体的な視点〉が設定してあることにより、〈振り返りの充実〉や〈意識付け〉された実習に、また、【実習指導者】にとっては、〈添削負担の軽減〉や〈効果的な指導〉に繋がると考えられるが、〈カンファレンス時間確保の難しさ〉や、反って実習生によっては〈指導負担の増加〉も懸念され、指導すること自体に〈変わらない〉と考えられている。また、質問Bの自由記述から、実習生にとって、〈具体的な視点〉獲得に繋がるだけではなく、〈記述負担の減少〉〈振り返りの充実〉〈保育場面の捉えが可能〉等のプラスの効果を得られる可能性があるもの、〈課題意識を持った観察・考察力等の必要性〉があるため、実習生によっては〈困難さが生じる可能性〉もあることが懸念されていると推察できた。

## (2) 実習生の具体的な学びに繋がるか

質問C「実習生への具体的な指導に繋がるか」について質問の結果からは、「とてもそう思う」「ややそう思う」の総計が「あまりそう思わない」「全くそう思わない」より約7割程度と高い数値を示した。また、自由記述をKJ法で分類した結果、実習指導者が実習生の受け止めや迷い等の〈実習生の視点理解〉に繋がりがよくなることで、〈具体的な指導〉が可能となり、実習生の〈意識付け〉に繋がることが予測されるが、場面の見極めが難しい場合、〈困難さが生じる可能性〉があることや、そうなれば具体的な指導は難しくなると考えられていると推察できる。他には、〈時系列型記録の重要性〉〈分からない〉と言った項目が挙げられたことから、時系列型の良さを見直す必要性もあることが推察された。

質問D・E「『カンファレンス型の実習日誌』を取り入れた養成校を受け入れたことがあるか」とその効果については、「ある」とした回答が1園で、「一つの場면을丁寧に読み取り、視点をしばって日誌を書くことで、指導者と一緒に考えたり、具体的に指導したりすることができ、より深い学びに繋がると感じた」とあることから、具体的な場面の読み取りや指導者と共に思考を整理するで、具体的で深い学びに繋がる可能性があることが推察できた。

また最後に質問F「時系列型について」では、「保育の全体の流れを的確に捉える大事な学習」、「時系列の指導案を書く練習になる」と考えられていること

や、従来の時系列型を使用する際にも、活動のねらいに即した書き方の指導が行き届くことが大切に考えられていると推察された。一方、大私幼日誌については、①選択制にはどうか、②実習時期に応じて使い分けてはどうかという記述が見られ、その他にも実習指導者や実習生にとって負担にならない量や内容、実習生の思いが感じ取られるような記述内容となることが望ましいと考えられていることが推察された。

以上のことから、大幼実日誌を取り入れるメリットとして、保育を捉える視点が具体的であるため、実習生は要点を押さえた記録を書くことができ、振り返りがしやすくなるだけではなく、意識を持った実習になることが予測されること、実習指導者も、実習生の受け止めや理解度、学生が一番強く感じた心動かされた場面が分かりやすく、ポイントをしばった効果的な指導が得られる可能性があることと推察される。しかし、時系列型も「実習の全体的な流れの把握や、指導案作成のために必要な学習で重要であること、大私幼日誌を用いた場合、カンファレンス（実習生との対話）の時間確保の難しさ、記述が苦手な学生にとっては困難さを抱え、指導に難しさが生じる可能性があることも推察できた。

## 2. 今後の方向性

上記の内容を踏まえ、実習指導者会で実習指導者と①選択制にする、②実習時期に応じて使い分ける等も含め話し合った結果、以下3点に視点を置きルールを定めた上で、従来から使用している実習日誌（「時系列型」+「エピソード型」）に加え、大私幼日誌の両者を導入していく方向で決定した。

- ① 実習園・実習生別に選択制にすること
- ② 新しいクラス1週目は現在使用している「時系列型」+「エピソード型」の実習日誌を使用する。2週目以降は、保育者と実習生でいずれの形式を使うか話し合い決定する。
- ③ 大私幼日誌内のカンファレンスの実施に負担感を強く感じる指導者が多いことから、面談記録の欄を削除した様式を用い、負担がない程度に振り返りの時間を設ける。

本研究は、大私幼日誌の実習日誌の形式導入について、実習指導者にアンケート調査を実施し、まとめた結果からその可否について検討し考察を行った。その結果、それぞれの実習日誌にプラス面があるものの、

実習指導者と実習生双方の負担軽減や具体的な学びに繋がるかが求められていること等が実習日誌の様式の課題として挙げられるが、「大私幼日誌」をまずは導入し、他の日誌の形態についても、効果的な内容を検討し続ける必要があると考えることができた。実習生にとって実習は、保育・教育現場の息吹を感じ省察しながら、実践的な学びを積み重ね得られる貴重な機会であるため、実習日誌の様式や用い方について、より意味があるようにしていく必要がある。本研究では実際に実習した学生や園の指導者からの意見は集約されておらず、今後は実習後にあらためて実習園の指導者や、使用した学生に調査を依頼することでその方向性について検討する必要があると考える。

### 引用文献

- 1) 小櫃智子・守巧・佐藤恵ら (2017) 幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド, わかば社, p84
- 2) 大豆生田啓友・高杉展・若月芳浩 (2012) 最新保育講座12 [第二版] 幼稚園実習 保育所・施設実習, ミネルヴァ書房, p24
- 3) 打越みゆき・藤原明子・里脇福代 (2006) 保育士養成校コースにおける実習を通しての学修の分析－実習評価票・実習日誌の分析を通して－, 里美学園短期大学研究論叢, 38, p272
- 4) 山本房子 (2022) 幼稚園実習日誌の実際, 中国学園紀要, 21, p11
- 5) 井口眞美 (2011) 保育者養成校における実習日誌に関する指導法の研究－幼稚園実習日誌に用いられる“時制”についての調査から－, 淑徳短期大学研究紀要, 51, pp109
- 6) 前掲4)
- 7) 陸路和佳・松本和美・山田吉郎ほか (2019) 子どもを視る眼を育む実習日誌について, 鶴見大学紀要, 56 (3), p65
- 8) 大阪教育大学 (2024) 教育効果の改善に資する教育実習等実施のガイドライン - 令和5年度文部科学省委託事業・教師の養成・採用・研修の一体的改革推進事業・理論と実践の往還を通じた教育実習等の在り方に関する研究, p20
- 9) 前掲4)
- 10) 前掲1)
- 11) 阿部直美・村井尚子 (2009) 保育者の意図・願いを捉えた実習日誌の記録の試み, 大阪樟蔭女子大学人間科学研究紀要, 8, pp143-155
- 12) 三澤恵 (2016) 幼稚園での観察学習度日誌指導の授業実践と効果, 子ども未来研究, 11, pp31-41
- 13) 前掲1) pp84-85
- 14) 同上
- 15) 同上
- 16) 請川滋大・糸原淳子・吉岡しのぶ他 (2023) 幼稚園実習におけるドキュメンテーション型日誌導入の試み－大学と付属幼稚園との協同をととして－, 日本女子大学紀要家政学部, 70, pp47-55
- 17) (一社) 大阪府私立幼稚園連盟 (2020) 大阪府私立幼稚園連盟実習ガイドライン
- 18) 同上17) p2
- 19) 同上17) pp9-10
- 20) 前掲17) p12

# Examination of Practice Diaries in Kindergarten Practice

Funakoshi Miyuki\*

## Abstract

In this study, the training schools proposed the introduction of a training diary prepared by the Osaka Federation of Private Kindergartens, and we asked the leaders of the training schools to complete a questionnaire survey from two perspectives: (1) whether the diary would reduce the burden on both the training leaders and the trainees, and (2) whether the diary would lead to concrete learning for the trainees, and to consider the format and method of incorporating the diary in future training programs. As a result, it was inferred that the specific perspective from which childcare is viewed makes it easier for trainees to record and reflect on the main points, and for supervisors to understand the trainees' perceptions and understanding, and the scenes that moved them the most, and to provide effective, focused instruction. However, it was also inferred that the time-series type is also important for understanding the overall flow and for creating instructional plans, and that if it is introduced, students may have difficulty securing time for conferences and may have difficulty with writing. (1) Use a choice system for each practicum site and trainee (2) Use the current "chronological" plus "episodic" training diary for the first week of the new class; from the second week, discuss and decide which format to use with the childcare provider and trainee (3) Create a diary format with the interview record section deleted and provide time for reflection to the extent that it is not too burdensome. The following three rules will be introduced, and future directions will be explored.

Keywords: Childcare and Early Childhood Education, Practical Training Diary, Kindergarten Practice

## 実習日誌

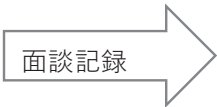
大阪健康福祉短期大学 保育・幼児教育学科

令和 年 月 日( ) 天気		実習生氏名		
自己目標			実習クラス名 ( )歳児	
ねらい			出席 名、欠席 名	
内容				
時分	子どもの活動(姿)・環境構成 【主語は子ども】	保育者(職員)のかかわり・援助 【主語は保育者(職員)】	実習生の行動・気づき 【主語は実習生】	



## 大阪府私立幼稚園の実習日誌

\*資料を基に筆者作成

日付・曜日	月 日 ( )	学校名・氏名
今日の主な活動	学年 ( ) 歳児	クラス名 ( )
クラスのねらい (園のねらい)		
実習生の今日の目標		
<b>一日の振り返り(面談の視点)</b>		
【今日の実習で、上記の「クラスのねらい (園のねらい)」の活動をどのような場面で見たか】		
【今日の実習で、子ども同士のかかわりや保育者の子どもへのかかわり、保育者の仕事等で学んだこと、気づいたこと】		
【今日の実習で、子どもへの関わりや保育者の仕事等で疑問に思ったこと・迷ったこと・困ったこと】		
 面談記録		
【今日の実習で、印象に残った子どものエピソードとその考察】		
*エピソード=遊び、生活習慣、けんか、かかわりを、具体的な保育者や子どもの言葉や行動を添えて記入		
【今日の実習で、印象に残った環境 (園庭・保育室環境) にかかわる子どもの姿、及びその環境構成の意図の考察】		
【今日の実習を踏まえて、明日はどんな目標をもって実習するのか】		
印		